

スチューデントコース

問題

特許検索競技大会 2021

試験時間	90分
------	-----

【 注意事項 】

1. 監督者の指示がある場合、その指示に従い試験を行ってください
2. この問題用紙は全 15 ページあるので確認してください
3. 試験中はインターネットによる無料検索サイトの利用が可能です
(Google、Yahoo! JAPAN、特許情報プラットフォーム (J-PlatPat) 等)
4. J-PlatPat の具体的な使い方については、J-PlatPat のパンフレットを参照してください。
(<https://www.inpit.go.jp/content/100873457.pdf>)
5. 最終頁に解答用紙がありますので、適宜ご使用ください

氏 名	
-----	--

無断転載を禁じます

著作権は一般財団法人工業所有権協力センターに帰属します

令和 年 月 日

一般財団法人工業所有権協力センター

【問1】のねらい

J-PlatPat を利用した知財情報の調査を、まず商標の検索から始めてみる。

商標制度の基本について知り、J-PlatPat を利用した商標検索の基礎と応用を学ぶ。

J-PlatPat の具体的な使い方については、J-PlatPat のパンフレットを参照してください。

【J-PlatPat の URL】 <https://www.j-platpat.inpit.go.jp/>

【問1】

次の(1)～(3)の各問について、J-PlatPat の「商標検索」を利用して解答しなさい。

- (1) 「商標」は、企業、自治体、大学、組合などの団体や個人が、自己が生産、証明、譲渡する商品や、自己が提供、証明する役務（えきむ、サービスのこと）を、他人が生産、提供等する商品・役務と区別するために、その商品・役務について使用するマーク（文字、図形、記号、立体的形状、音等）である。

東京都では、商標「ふくむすび」を登録している。J-PlatPat を利用して、商標「ふくむすび」（称呼：フクムスビ）について検索を行い、その中から東京都が権利者である商標の登録番号を、7桁の数字で解答欄に記入しなさい。

参考

【J-PlatPat のトップページ】



【検索の一例】

J-PlatPat のトップページから、「商標」→「商標検索」を選ぶ。

次に、たとえば、「商標（マーク）」の「検索項目」欄で「商標（検索用）」を選び、「キーワード」欄に「ふくむすび」、「?ふくむすび」、「ふくむすび?」、「?ふくむすび?」等と入力する（注：?（半角）はワイルドカードとして機能する）。

「商標（検索用）」の代わりに「称呼（単純文字列検索）」を選び、「キーワード」欄に、カタカナで、「フクムスビ」、「?フクムスビ」、「フクムスビ?」、「?フクムスビ?」等と入力してもよい。

次に、「検索」ボタンをクリックすると、検索結果が一覧表示される。

※「商標（検索用）」では英字入力が可能で、全角/半角、大文字/小文字のいずれを入力しても検索される。

商標登録出願人や商標権者で検索するときは、「その他の検索キーワード」の「検索項目」欄で、「出願人/権利者/名義人」を選び、「東京都」等と入力する。

- (2) 商標登録を出願する際には、商標の使用をする商品・役務について、指定商品・指定役務として、具体的に記載する必要があり、商標登録後は、指定商品・指定役務について登録商標を使用する権利を専有できる。

国立大学法人 千葉大学では、以下の商標（称呼：アカデミックリンク）を登録している。

The logo for 'Academic Link' features the text 'Academic Link' in a sans-serif font. The letters are white with a thin black outline. A colorful, multi-colored line (rainbow spectrum) is drawn across the text, starting from the 'A' and ending at the 'k', passing through the 'd', 'e', and 'm'.

J-PlatPatの「商標検索」欄の「称呼（単純文字列検索）」を利用してこの商標を検索し、その指定商品・指定役務に含まれるものを以下の選択肢 a.～e.の中から3つ選択し、解答しなさい。

選択肢：

- a. 文房具類
 - b. 写真立て
 - c. 電子出版物の提供
 - d. 書籍の制作
 - e. インターネットを利用して行う映像の提供
- (3) 商標権は、出願人からの出願を特許庁の審査官が審査し、拒絶理由がなければ登録査定が出され、登録料が納付されると登録される。拒絶理由がある場合には、出願人は手続補正書や意見書を提出して、拒絶理由を解消したり、審査官に反論したりすることができる。商標権は登録日に発生し、その日から10年が経過すると消滅する。なお、商標権者が更新の手続を行うことで、商標権は10年ずつ何回でも更新することができる。

商標登録出願 2005-022269号（商願 2005-022269）は、出願から登録までに、出願人と特許庁との間で、書面による手続が何度かなされている。

この出願について J-PlatPat を利用してその出願・登録情報および審査経過（経過情報）を調べ、以下の①～④に解答しなさい（日付は西暦とすること）。

なお、④については、この商標に今後の更新申請がないものと仮定して解答しなさい。

※ 商標出願が登録（権利化）されているか等の経過情報は、「商標番号検索」画面の「検索結果一覧」または個々の案件の「商標出願・登録情報」画面の右上「経過情報」ボタンから確認できる。また、「経過情報照会」画面では、審査記録と登録記録が「経過記録」タブで、出願から登録されるまでの情報が「出願情報」タブで、登録されている場合は、登録以降の情報が「登録情報」タブで確認できる。

- ① 出願日
- ② 登録日
- ③ 審査官による拒絶理由通知の送付（発送）の後に、手続補正書が提出された日
- ④ この登録商標の存続期間満了日（権利が消滅する日）

【問2】のねらい

J-PlatPat を利用して特許文献を照会・検索する方法を理解する。

公報の読み方の基本を理解する。

分類の使い方の基本を理解する。

J-PlatPat の具体的な使い方については、J-PlatPat のパンフレットを参照してください。

【J-PlatPat の URL】 <https://www.j-platpat.inpit.go.jp/>

【問2】

私 (A) は、土日の早朝、釣り場を巡る。この十数年間一度も絶やしたことがない。魚釣りは、職場の誰にも話したことの無い、密かな楽しみなのだ。カンカン照りの日も、土砂降りの日も、釣り糸を垂れては、まだ見ぬ魚との対面に、心躍りながら平静を装う。

その日はバケツをひっくり返したような雨の日だった。仕掛けに、ルアー（疑似餌）を使ってみた。しばらく待つと、釣り竿がしなる。アタリだ。食いついた魚が逃げないように、慎重にそして迅速に釣り上げる。

「おや、魚とおまけがついているな」

釣り上げた先には、予想外のものがついていた。天候のせいか、ルアーに糸と小さな錘（おもり）が絡まっていた。魚を丁寧に釣り針から外したが、悪天候の中で絡まった糸をほどくのは難しいとあきらめ、絡まった糸と錘はそのまま釣りを再開。するとすぐさま次のアタリがきた。

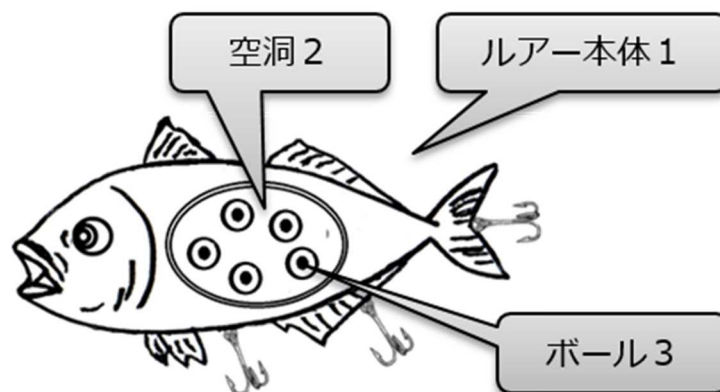
「今日は、何か違う」

心の中で何度か繰り返した後、いつもとの違いを観察してみた。水面近くでルアーを泳がせてみる。絡みついていた糸と錘がルアー本体に小刻みにぶつかり、「コツコツ」と音を出していた。

「まさかこれか」

その日はバケツをひっくり返したような雨の日だった。悪天候の中、水中の視界が悪い時、音が出ていると魚を寄せる効果があるのではないかと。そう気づき、ルアーの内部に空洞を設け、その中に小さなボールを複数入れて音を出してみると良いのではないかと、その時私は「発明」に至った。

「ルアー本体1の内部に空洞2を作り、その中にボール3を入れて、音を出す、ルアー」



翌日、同じ会社の知的財産部に所属する、顔なじみのBさんに、それとなく聞いてみた。Bさんは、簡単に特許調査を行ってくれた。以下のような回答だった。

「Aさん

先日のルアーだけど、似ている特許があったから、次の公開特許公報を読んでみて。

特開 2002-218865

これ以外にもありそうなので、特許権を取得したいなら J-PlatPat で調査が必要ですね。」

- ※ 当該技術分野において、「ルアー」と「疑似餌」は同意義とする。また、ルアー内部において、音を発生させる「ボール」と同様の部材を、「ラトル」、「ラトルボール」と呼ぶ。
- ※ 公開特許公報には、その出願の「出願番号」、「公開番号」、「出願日」、「公開日」、「出願人」、「発明者」、「発明の名称」、「要約/抄録」、「特許請求の範囲」、「発明の詳細な説明」、「実施例」、「図面」等が記載されている。

- (1) J-PlatPat の「特許・実用新案」メニューの中の「特許・実用新案番号照会/OPD」を利用して、Bさんが教えてくれた公開特許公報（特開 2002-218865）にアクセスし、その公報の公開日を調べ、解答欄に西暦で記入しなさい。
- (2) 続いて、上記（1）でアクセスした公報の経過情報を調べ、同公報に対応する出願の経過としてわかることを、以下の選択肢 a.～g.の中から2つ選択し、解答しなさい。

※ 特許出願が審査請求されているか、登録（権利化）されているか等の経過情報は、「特許・実用新案番号照会/OPD」画面の「検索結果一覧」または個々の案件の「文献表示」画面の右上「経過情報」ボタンから確認できる。また、「経過情報照会」画面では、審査記録と登録記録が「経過記録」タブで、出願から登録されるまでの情報が「出願情報」タブで、登録されている場合は、登録以降の情報が「登録情報」タブで確認できる。

選択肢：

- a. 審査請求せずに取下げ処分となっている。
- b. 審査請求後、審査の過程で拒絶理由が1回通知された。
- c. 審査請求後、審査の過程で拒絶理由が2回通知された。
- d. 審査請求後、審査の過程で拒絶査定となり、特許成立・登録に至っていない。
- e. 拒絶理由通知は一度も通知されていない。
- f. 特許が成立し、登録になった後に、無効審判請求が出されている。
- g. 特許が成立し、登録になった後に、現在も権利維持されている。

- (3) 上記（1）でアクセスした公報の「発明の詳細な説明」の中で、Aさんのアイデアがすべて記載された段落を、以下の選択肢 a.～e.の中から1つ選択し、解答しなさい。

選択肢：

- a. 【0 0 1 1】
- b. 【0 0 1 3】
- c. 【0 0 2 2】
- d. 【0 0 3 6】
- e. 【0 0 4 3】

- (4) 私 (A) は、ルアーの発明にさらに興味をもった。そのことを B さんに伝えたところ、B さんからは、J-PlatPat の「特許・実用新案検索」を使えば、過去にどんな発明や考案が公開されているのかを検索することができることを教わった。あわせて、B さんからは、「簡単な検索方法として『キーワード検索』というものがあるが、検索項目の選び方や、キーワードの表記の違いによってヒット件数が異なるため、注意しなさい」との助言があった。

私 (A) は、さっそく、J-PlatPat の「特許・実用新案検索」でキーワード検索を行って、ルアーに関する発明や考案を調べてみることにした。

※ J-PlatPat では、公開特許公報をはじめ特許・実用新案公報、外国文献等の、出願人名、発明者名、発明の名称等を含む「書誌的事項」、発明や考案の要旨を簡潔にまとめた「要約/抄録」、「請求の範囲」、「明細書」等のそれぞれについて、キーワードを用いて検索することができる。

J-PlatPat で、キーワード検索の検索項目として「全文」を選ぶと、「書誌的事項」、「要約/抄録」、「請求の範囲」、「明細書」を含めて検索を行う。

【特許・実用新案検索画面】

The screenshot shows the J-PlatPat search interface. At the top, there are tabs for '選択入力' (Selected Input) and '論理式入力' (Logical Formula Input). Below that, the 'テキスト検索対象' (Text Search Target) is set to '和文' (Japanese). The '文献種別' (Document Type) section has '国内文献 all' (Domestic Documents all) checked. The '検索キーワード' (Search Keyword) section has two input fields with examples: '例) 感染を予防' and '例) 組成物'. A dropdown menu for '検索項目' (Search Item) is open, listing various search criteria. A red box highlights this dropdown, and a callout bubble points to it with the text '選択できる各検索項目' (Each search item that can be selected). The '検索オプション' (Search Options) section is at the bottom, with 'オプション指定: なし' (Option specification: none).

私 (A) は、最初に、検索項目として「要約/抄録」だけを選び、「ルアー」AND「音」AND「集魚」と入力して検索すると、ヒットした公報の件数は 11 件であった。

※ ここでは、検索にあたって、「テキスト検索対象」で「和文」のラジオボタンを選択し、「文献種別」で「国内文献 all」のチェックボックスのみを選択している。以下、全てこの条件で検索するものとする。

【特許・実用新案検索画面】

The screenshot shows the search interface with the following details:

- 選択入力 / 論理式入力** tabs at the top.
- テキスト検索対象** section with radio buttons for **和文** (selected) and **英文**.
- 文献種別** section with checkboxes for **国内文献** (checked), **外国文献**, **非特許文献**, and **J-GLOBAL**.
- 検索キーワード** section with a dropdown for **検索項目** (set to **要約/抄録**) and input fields for **キーワード** containing **ルアー**, **音**, **集魚**, and **例) 組成物**.
- Logical operators **AND** are placed between the keyword fields.
- Buttons for **近傍検索** (Nearby Search) are present next to each keyword field.
- Bottom controls include **削除** (Delete) and **追加** (Add) buttons.

【検索結果一覧画面（一部）】

The screenshot shows the search results overview page with the following details:

- 検索結果一覧** header with a search icon and a **ヘルプ** (Help) button.
- Summary cards for **国内文献 (11)**, **外国文献 (-)**, and **非特許文献 (-)**.
- 検索一覧オプション** (Search Overview Options) section with a **閉じる** (Close) button.
- 公知年別** (By Publication Year): **全て** | 2019年(1件) | 2017年(1件) | 2012年(1件) | 2011年(1件) | 2008年(1件) | 2003年(1件) | 2002年(1件) | 2001年(1件) | 2000年(1件) | 他(2件)
- FI別** (By FI Class): **全て** | **A01(11件)**
- 一覧画面の表示指定** (Display Specification of Overview Page) with a help icon.
- Radio buttons for **最先公知優先** (selected) and **公告・登録優先** (Priority of Announcement/Registration).

ヒット件数が少なすぎるように感じたので、私（A）は、次に、検索項目をすべて「全文」に変えて検索することにした。

- ① 検索項目として、すべて「全文」を選び、「ルアー」AND「音」AND「集魚」と入力し、そのヒット件数を解答しなさい。ただし、一の位を四捨五入すること。
- ② 同じく、検索項目として、すべて「全文」を選び、「ルアー 疑似餌」AND「音 聴覚」AND「集魚」と入力し、そのヒット件数を解答しなさい。ただし、一の位を四捨五入すること。

- (5) 上記(4)の「全文」を対象にしたキーワード検索でヒットして、「検索結果一覧」に表示された公報は、「発明の名称」から見ても、「ルアー」とは関係のなさそうなもの(ノイズ)が存在することがわかった。

上記(4)の②の検索でヒットした公報のうち、[特開 2006-191923](#)の内容を確認し、本件がヒットした理由として考えられる最も適切なものを、以下の選択肢 a.~e.の中から1つ選択し、解答しなさい。

選択肢：

- a. 要約の一部に、「ルアー」の発明が記載されている。
 - b. J-PlatPat は、検索に使用したキーワードのそれぞれにヒットしたものの和集合が表示されるようになっているため、「ルアー」と直接関係のない公報もヒットした。
 - c. ルアーは、防水のものが一般的に多いので、J-PlatPat の仕様として、「ルアー」の文字が記載されていれば、「防水」に関する発明も自動的にヒットするようになっている。
 - d. キーワードとして、「ルアー 疑似餌」を用いた結果、「ルアー」という記載のある文献がヒットし、「ルアー」を取り付け可能な「防水ケース」の発明が検索された。
 - e. J-PlatPat の検索機能には人工知能が用いられており、少ないとはいえ、一定の割合で無関係な公報も検索される。
- (6) 上記(4)①及び②の検索結果から、キーワード検索として、「ルアー」AND「音」AND「集魚」と入力した場合より、類義語を増やした「ルアー 疑似餌」AND「音 聴覚」AND「集魚」と入力した場合の結果の方が、ヒット件数が多くなることがわかった。

類義語を増やせば検索した結果のヒット件数が増えることがわかり、私(A)は、どこまで類義語を増やすべきなのかをBさんに相談したところ、Bさんから「分類を使えば良いよ」とアドバイスを受けた。

キーワード検索と、分類検索に関する説明として最も適切とはいえないものを、以下の選択肢 a.~e.の中から1つ選択し、解答しなさい。

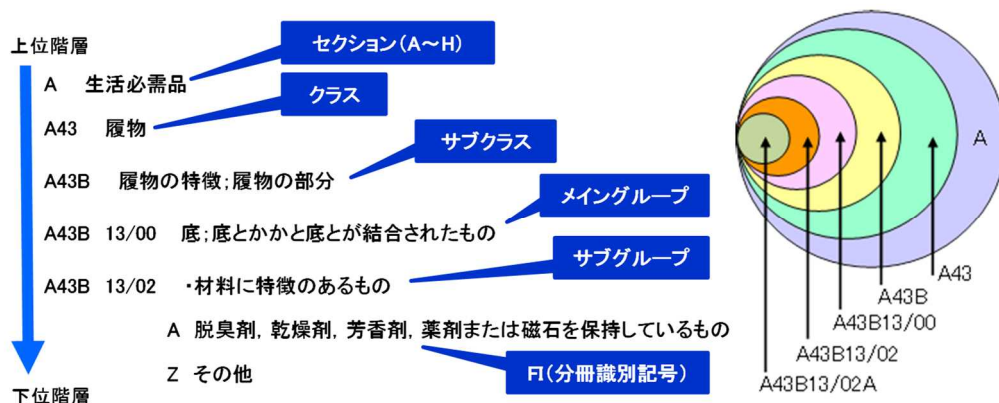
選択肢：

- a. キーワード検索は、探したい技術を的確に表現したキーワードを設定すれば、当該キーワードが含まれる技術が的確にヒットし、検索の効率化に役立つ。
- b. 分類検索は、当該分類の要素が含まれる技術を網羅的にヒットさせることが可能である。
- c. 総合的な検索の戦略を構築するには、キーワード検索と分類検索の両方を活用することが有効である。
- d. キーワード検索は、類義語を増やせば増やすほどヒット件数が増加するため、類義語を2語設定して検索すれば、十分である。
- e. 分類検索は、キーワードのような文章で表現できない「形状」など、キーワード検索では検索が難しい対象も検索することができる。

- (7) 私 (A) は、J-PlatPat の「特許・実用新案検索」で、「キーワード検索」を行い、その後、B さんから分類検索を教えてもらい、国内の特許文献を検索するには、技術分野や内容により階層構造で分類された特許分類の「FI」を使って検索する方法も、文献の絞り込みには有効であることを学んだ。私 (A) は、「FI」による検索をさらに深く勉強し、試してみることにした。

特許の公報には特許分類が付与されています。特許文献の調査においては、適切な特許分類を用いることによって、調べたい技術分野に対応した関連性の高いヒット文献集合を得ることができます。特許分類には国際的に統一され、各国で共通して使われている IPC (国際特許分類)、日本の特許庁が独自に付与している FI (File Index) などいくつかの種類がありますが、ここでは FI について学びましょう。

FI は、まず、発明に関する全技術分野を A~H のセクションに分けています。そしてそれぞれのセクションは、広い技術概念から狭い技術概念へ、更に狭い技術概念へ、というように階層化されています。下図の A セクションの一例を見ると、下位の階層になるほど技術が細分化されているのが理解できると思います。



※ 特許分類としての FI の詳細は、J-PlatPat の特許・実用新案分類照会(PMGS)のコード照会から、「検索対象：FI/ファセット」で分類の一部を入力して検索したり、その下の「分類表示」から FI の各セクションの下位階層を展開して調べたりすることができます。

なお、FI の入力の際には、いくつかの入力ルールがあるので注意が必要です。

例えば、「A43B13/02 A」を入力する場合、J-Platpat では、「A43B13/02@A」というように半角の@をつける必要があります。

以下の①~④の FI について、J-PlatPat の特許・実用新案分類照会(PMGS)を利用して、内容を調べなさい。そして、①~④の FI の説明と合致するものを、以下の選択肢 a.~d.の中から1つずつ選択し、解答しなさい。

FI

- ① A01K83/00 A
- ② A01K85/01 B
- ③ A01K85/08
- ④ A01K95/00 D

選択肢：

- a. 「魚釣り」のうち、「漁撈用の疑似餌」のうち、「・フライ；毛鉤」
- b. 「魚釣り」のうち、「漁撈用の疑似餌」のうち、「・発光器，発音器，臭気散布器または類似物を有するもの」のうち、「発音器を有するもの」
- c. 「魚釣り」のうち、「釣針」のうち、「釣糸係止部に特徴を有するもの」
- d. 「魚釣り」のうち、「釣用のおもり」のうち、「発光装置を有するもの」

- (8) 上記(4)でキーワード検索を行った②の式で、「ルアー 疑似餌」AND「音 聴覚」AND「集魚」のキーワードを用いた検索に換えて、FIのみを使用した検索を行う場合、使用するのに適切なFIを、上記(7)の①～④の中から1つ選択し、解答しなさい。

選択肢：

- ① A01K83/00 A
- ② A01K85/01 B
- ③ A01K85/08
- ④ A01K95/00 D

- (9) 上記(8)で答えたFIのみを使用した検索を実行して、「国内文献」のヒット件数を解答しなさい。ただし、一の位を四捨五入すること。

- (10) 私(A)は、自身のアイデアが過去に特許出願されていたことから、ルアーの内部に1つではなく、複数の空間を設け、それぞれにボールを入れた構造の、音の出る新たなルアーのアイデアを思い付いた。

私(A)の新たなアイデアに関連する可能性のある以下の4件の公報を読み、必要に応じ図面も参照し、私(A)の新たなアイデアがすべて記載された公報と段落番号の組み合わせを、以下の選択肢a.～d.の中から1つ選択し、解答しなさい。

選択肢：

- a. [特開 2017-051144](#) [0018]～[0020]
- b. [実用新案登録第 3189441 号](#) [0020]～[0022]
- c. [特開 2010-068712](#) [0002]～[0004]
- d. [特開 2001-045920](#) [0027]～[0029]

【問3】のねらい

J-PlatPat を利用して同じ発明が先に出版されていないかどうかを調べる方法（先行技術調査）を学ぶ。

J-PlatPat の具体的な使い方については、J-PlatPat のパンフレットを参照してください。

【J-PlatPat の URL】 <https://www.j-platpat.inpit.go.jp/>

【問3】

<ニューノーマルの生活様式における課題>

Aさんは、ウイルス感染症における感染ルートの一つとして、ドアノブなど不特定多数の人が手で触れる場所や物を介した感染、いわゆる接触感染があり、特に握り玉式のドアノブは使用時に指や手のひらで触れる必要があるため、感染症の原因となりやすいことをテレビ番組で知りました。

普段の生活でドアノブを触らない日はありません。Aさんは、ウイルス感染症の流行を少しでも抑えたいと思い、握り玉式のドアノブを指や手のひらで触れずにドアを開けられる方法がないか考えることにしました。

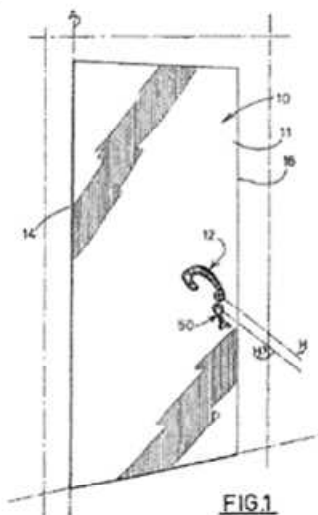
まず、Aさんは、握り玉式のドアノブに指や手のひらで触れなくてもドアが開けられる器具について、J-PlatPat で調べてみたところ、以下の先行技術を見つけました。

<先行技術の発見>

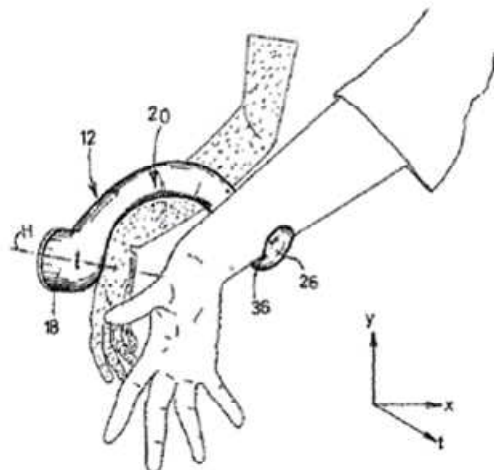
Aさんが見つけた先行技術（[特表 2008-506872](#)）はドアノブに関するもので、当先行技術の図1のような特殊な形をしており、当先行技術の図9のように使用者は腕、肘又は手首などでドアノブを操作でき、指や手のひらを使わない衛生的なドアノブの発明です。

しかし、先行技術はドアノブそのものの発明であり、これを用いるためには自宅や職場のドアノブを換えなければなりません。ドアノブの交換は素人では難しく、専門業者を呼ばなければならない場合も多く、それに伴う手間やコストは大きいと考えられます。

先行技術
【図1】



先行技術
【図9】



出典：特表 2008-506872

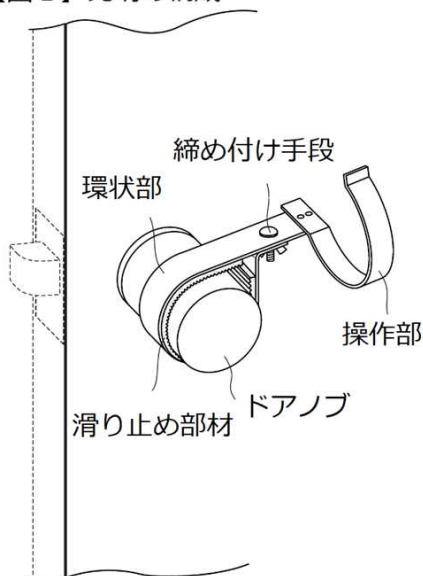
<先行技術における課題を解決するアイデア（発明）の着想と具体化>

Aさんは、握り玉式のドアノブをドアから取り外さなくても、既存の握り玉式のドアノブに取り付けることができ、かつ、指や手のひらで触れなくてもドアが開けられるドア開閉補助具を作ることができないかと試行錯誤し、新たなアイデアを思い付きました。

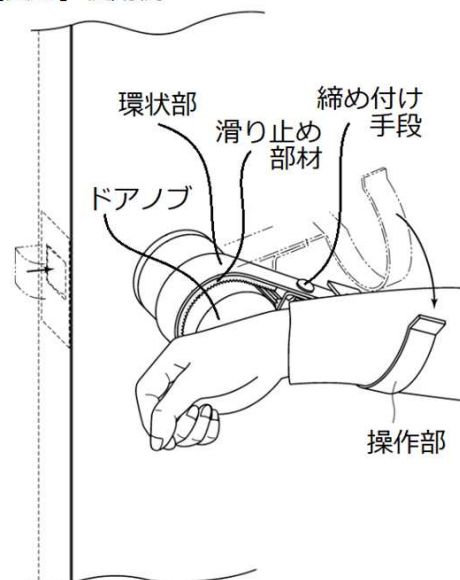
Aさんのアイデア（以下、「本発明」という）は、まとめると以下のようなものになります。

- A：握り玉式のドアノブに取り付けるドア開閉補助具。
- B：ドアノブに取り付けるための環状部を有し、その一端に環状部の内径を変えることにより締め付け可能な締め付け手段を備える。
- C：ドア開閉補助具がドアノブに対して滑らないように、環状部の内側にゴムや樹脂などの弾性体からなる滑り止め部材を備える。
- D：腕、肘、手首でドアノブを操作できるフック状、鉤（カギ）状、又はL字状の操作部を、環状部から外部に突出して備える。

【図1】発明の構成



【図2】使用例



<発明についての先行技術調査>

Aさんは、このドア開閉補助具なら、ニューノーマルの生活様式に合った優れた補助具になると考え、特許事務所で働いている知り合いの弁理士Bさんに教わりながら、J-PlatPat でさらに詳しく先行技術調査を行いました。

特許文献の調査においては、適切な特許分類（FI）を用いることによって、調べたい技術分野に対応した関連性の高いヒット文献集合を得ることができます。

特許分類は、広い技術概念から狭い技術概念へ、更に狭い技術概念へ、というように階層化されています。ドアノブやその付属具に関する技術は、ウイング（※）用のノブまたはハンドル等に関する技術に関するFIである「E05B1/00」の下位の「E05B1/00,311」（自動車用以外のもの）が割り振られています。

※「ウイング」とは、移動できる戸（ドア）または窓に対する一般用語です。

「E05B1/00,311」は、分冊識別記号(A,B,C…Zの記号)によって、更に階層に細分化されており、特に、Aさんのドア開閉補助具の発明は、ドアノブ(ドアハンドル)の回転を補助するレバーであるため、「E05B1/00,311 R」の「ハンドルの回動補助レバー」に分類されています。

以下は、FIのごく一部を抜粋したものです。これら以外にも同階層の分類や、更にドットの多い下位階層の分類も存在します。(詳細は、J-PlatPatの「特許・実用新案」→「特許・実用新案分類照会(PMGS)」で調べることができます。)

[F I 一部抜粋]

E05B1/00	ウィング用のノブまたはハンドル;ウィングに取り付けた錠またはラッチ用のノブ,ハンドルまたは押しボタン
E05B1/00,311	・自動車用以外のもの
E05B1/00,311 A	錠止杆と非連動のハンドル
E05B1/00,311 B	・背面装着式ハンドル
E05B1/00,311 C	・・C形状ハンドル
E05B1/00,311 D	・前面装着式ハンドル
E05B1/00,311 E	・・C形状ハンドル
E05B1/00,311 F	錠止杆に連動するハンドル
E05B1/00,311 G	・C形状ハンドル
E05B1/00,311 H	・回動式ハンドル
E05B1/00,311 J	摺動扉用ハンドル
E05B1/00,311 K	・錠止杆に連動するハンドル
E05B1/00,311 L	折畳扉用ハンドル
E05B1/00,311 M	ハンドルの付属具
E05B1/00,311 N	・ノブカバー,ハンドルカバー
E05B1/00,311 P	・殺菌消毒装置
E05B1/00,311 Q	・緩衝具
E05B1/00,311 R	・ハンドルの回動補助レバー
E05B1/00,311 S	・照明装置
E05B1/00,311 Z	その他

調査には、J-PlatPatの「特許・実用新案検索」を用いて、以下の問いに答えなさい。

- (1) 調査を開始するにあたり、まず発明を整理する必要がある。本発明の必須の構成として適切とはいえないものを、以下の選択肢a.~e.の中から2つ選択し、解答しなさい。

選択肢:

- a. ドア開閉補助具
- b. 感染防止
- c. 環状部
- d. 滑り止め
- e. 握り玉式のドアノブ

- (2) 自分が考えた発明が、他人によって既に特許出願されていないかどうかを調べるためには、検索式を作成して、多くの特許文献の中から自分の発明に関連する技術が記載されたものを探し出す必要がある。一般に検索式は特許分類で技術概念を指定した上で、発明の特徴的な構成要素に関するキーワードを掛け算（AND）する形で作成される。

J-PlatPat の「特許・実用新案検索」を使い、本発明の FI とキーワードを用いて検索するとき、以下の検索式①～③に優先して入力すべきキーワードを、選択肢 a.～e.の解答群の中から3つ選択し、解答しなさい。

【特許・実用新案検索画面】

The screenshot shows the J-PlatPat search interface. At the top, there are tabs for 'Selection Input' and 'Formula Input'. Below that, the 'Text Search Target' section has radio buttons for 'Japanese' (selected) and 'English'. The 'Document Type' section has checkboxes for 'Domestic Literature' (checked), 'Foreign Literature', 'Non-patent Literature', and 'J-GLOBAL'. The 'Search Keywords' section has a table with columns for 'Search Item' and 'Keyword'. The first row has 'FI' in the search item and 'E05B1/00,311@R' in the keyword. Below this are three rows of search terms, each with a 'Delete' button, 'AND' operator, 'Full Text' search item, and a circled number (1, 2, 3) as the keyword. At the bottom, there are 'Delete' and 'Add' buttons.

- ※ 検索キーワードの入力エリアに FI を入力するときには、検索項目はプルダウンで「FI」を選択し、キーワードを入力するときには「全文」を選択すること。
- ※ 「E05B1/00,311 R」を入力する場合、「E05B1/00,311@R」というように、分冊識別記号「R」の前に半角の@を付ける必要がある。
- ※ 指定した FI の「E05B1/00,311@R」には、「ドアの補助具」という概念が既に含まれていることに注意すること。
- ※ 選択肢のキーワードには、考慮した方が良いと考えられる同義語・類義語・異表記が含まれていることに注意すること。

選択肢：

- a. ドア、ハンドル、ノブ、握り玉
- b. 環状、円環、円筒、円形、リング
- c. 感染、接触、タッチ、媒介
- d. 滑り止、滑り難、摩擦、ゴム、樹脂
- e. フック、鉤、L字、係止、掛止、係合

- (3) 上記(2)で答えた検索式を用いて検索を実行して、「国内文献」のヒット件数を解答しなさい。
ただし、一の位を四捨五入すること。検索は、「テキスト検索対象」として「和文」のラジオボタンを選択し、「国内文献 all」のチェックボックスを選択して「公知日/発行日」が2021年6月30日までのものを指定して行うこと。

なお、「公知日/発行日」の指定は画面の下部にある「検索オプション」の日付指定を「公知日/発行日」として日付を入力することで指定することができる。

【特許・実用新案検索画面】

The screenshot shows the '検索オプション' (Search Options) dialog box. The '日付指定' (Date Specification) section is highlighted with a red rectangle. It includes a dropdown menu set to '公知日/発行日' (Public/Issue Date), a date range from '例) 20190101' to '20210101', and a '追加' (Add) button. Below this, there is a '登録条件検索' (Registered Condition Search) section with a checkbox for '登録日ありで絞り込む' (Filter by registration date).

- (4) 上記(3)の検索結果や、別の検索式の検索結果により、本発明に関連する以下の4つの文献を発見した。

本発明に最も近い技術が記載されている文献を以下の選択肢 a.~d.の解答群の中から1つ選択するとともに、本発明の構成要素を最もよく説明している段落番号([] 内の番号)が記載された組み合わせを以下の選択肢 a-1.~d-3.の解答群の中から1つ選択し、解答しなさい。

特許文献の選択肢	段落番号の選択肢
a. 特許第 6792096 号	a-1. 【0006】 【0007】 【0008】 【0009】 a-2. 【0012】 【0013】 【0014】 【0015】 a-3. 【0041】 【0042】 【0045】 【0046】
b. 特許第 6823887 号	b-1. 【0004】 【0006】 【0007】 【0017】 b-2. 【0029】 【0030】 【0035】 【0044】 b-3. 【0033】 【0036】 【0044】 【0052】
c. 実用新案登録第 3227125 号	c-1. 【0001】 【0002】 【0004】 【0006】 c-2. 【0012】 【0013】 【0014】 【0015】 c-3. 【0018】 【0019】 【0021】 【0026】
d. 特開平 11-117581	d-1. 【0005】 【0006】 【0008】 【0009】 d-2. 【0011】 【0012】 【0014】 【0022】 d-3. 【0019】 【0020】 【0022】 【0023】

特許検索競技大会2021 スチューデントコース

No. _____

--

◆解答用紙◆ *解答欄に記入または○を付けてください。

氏名 _____

【問1】

(1)	1. 登録第 _____ 号	(7桁の数字で記入)
(2)	a. b. c. d. e.	(3つ選択)
(3)	① _____ 年 月 日	
	② _____ 年 月 日	
	③ _____ 年 月 日	
	④ _____ 年 月 日	

【問2】

(1)	_____ 年 月 日	
(2)	a. b. c. d. e. f. g.	(2つ選択)
(3)	a. b. c. d. e.	
(4)	① _____ 件	(一の位を四捨五入すること)
	② _____ 件	(一の位を四捨五入すること)
(5)	a. b. c. d. e.	
(6)	a. b. c. d. e.	
(7)	① _____ ② _____	
	③ _____ ④ _____	
(8)	① _____ ② _____ ③ _____ ④ _____	
(9)	_____ 件	(一の位を四捨五入すること)
(10)	a. b. c. d.	

【問3】

(1)	a. b. c. d. e.	(2つ選択)
(2)	a. b. c. d. e.	(3つ選択)
(3)	_____ 件	(一の位を四捨五入すること)
(4)	特許文献 _____ a. b. c. d.	
	段落番号 _____ a-1. a-2. a-3. b-1. b-2. b-3. c-1. c-2. c-3. d-1. d-2. d-3.	